

自然と共に生きる。



農業法人就業セミナー

株式会社 むぎわらぼうし

従業員 齋藤久仁明

2025年1月11日

- 1 自己紹介
- 2 会社の紹介
- 3 就業までの経緯、なぜ農業法人で働きたいと思ったか
- 4 農業法人で働くということ
- 5 今後について
- 6 農業法人で働くことを検討している皆さんへ

1 自己紹介



齋藤久仁明 47歳 群馬県出身

就業2年目

東京→大阪→名古屋で22年間の教職を経て転職

長野県へ移住し、株式会社むぎわらぼうしに入社する

白ネギ栽培担当

2 会社の紹介

会社名	株式会社 むぎわらぼうし
設立	2007年3月
本拠地	長野県松本市波田
代表取締役	大月 征典
役員従業員数	役員3名 正社員8名 パート4名 季節雇用2名
事業内容	すいか (5.7ha) 白ネギ (1.2ha) りんご (1ha) いちご (25a) の栽培・販売
売上高	14,000万円 (2022年度)
取得認証制度	信州の環境にやさしい農産物認証 *JGAP (すいか) *Japan Good Agricultural Practicesの略

「SDGsへの取り組み」

「高品質な農産物の提供」

「すいかへのこだわり」



3 就業までの経緯、なぜ農業法人で働きたいと思ったか

- Step① 教員の仕事に区切り、これからの「40年の生き方」を考える
- Step② 生涯現役の職として、根源的な「農業」に魅力を感じる
- Step③ 農業を具体化するため「デジタル農活信州」のイベントに申し込む
- Step④ オンライン就農相談で「就業フェア長野」を紹介され参加をする
- Step⑤ 就業フェアにて「株式会社むぎわらぼうしの大月社長と面談」を得る
- Step⑥ そこで「農業法人」「むぎわらぼうし」「すいかの栽培」に興味を持つ
- Step⑦ 就職面接ののち、株式会社むぎわらぼうしに入社、現在に至る

4 農業法人で働くということ

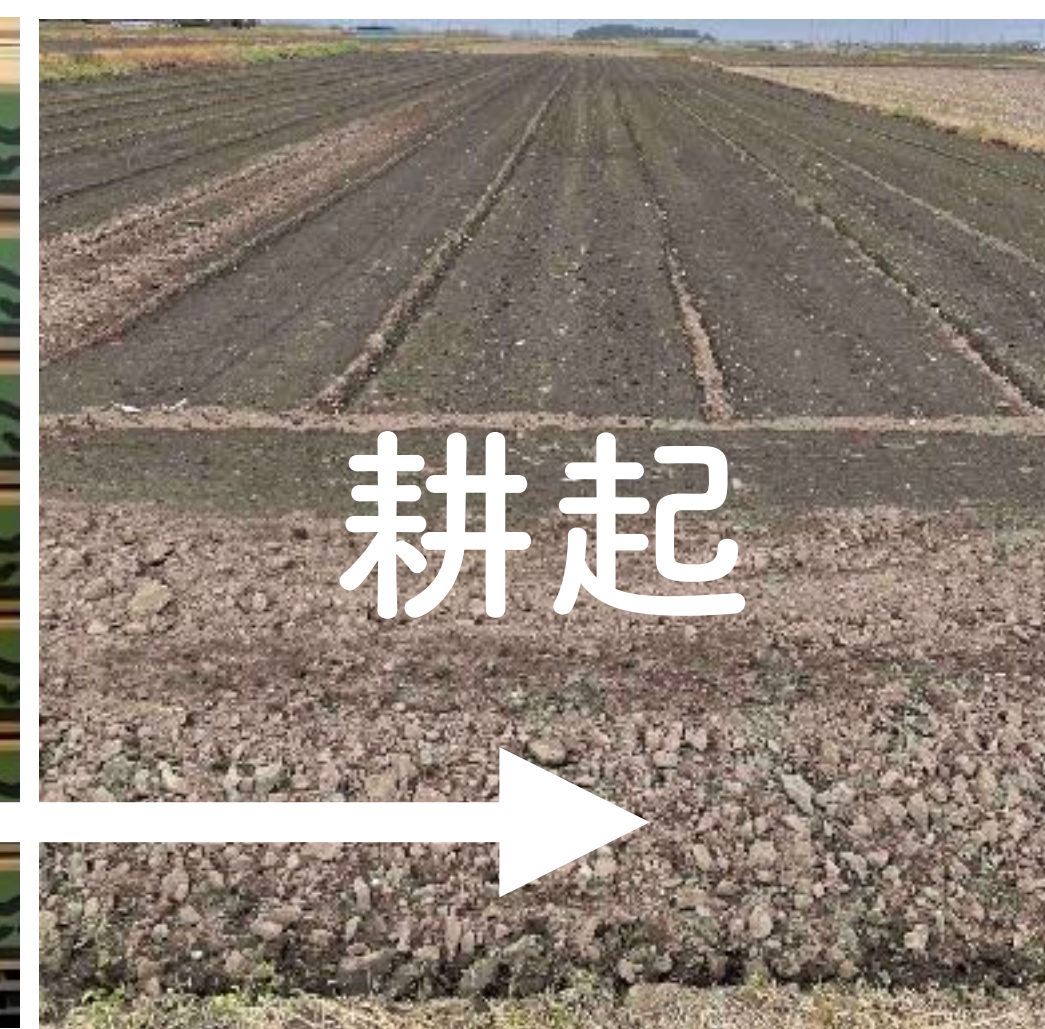
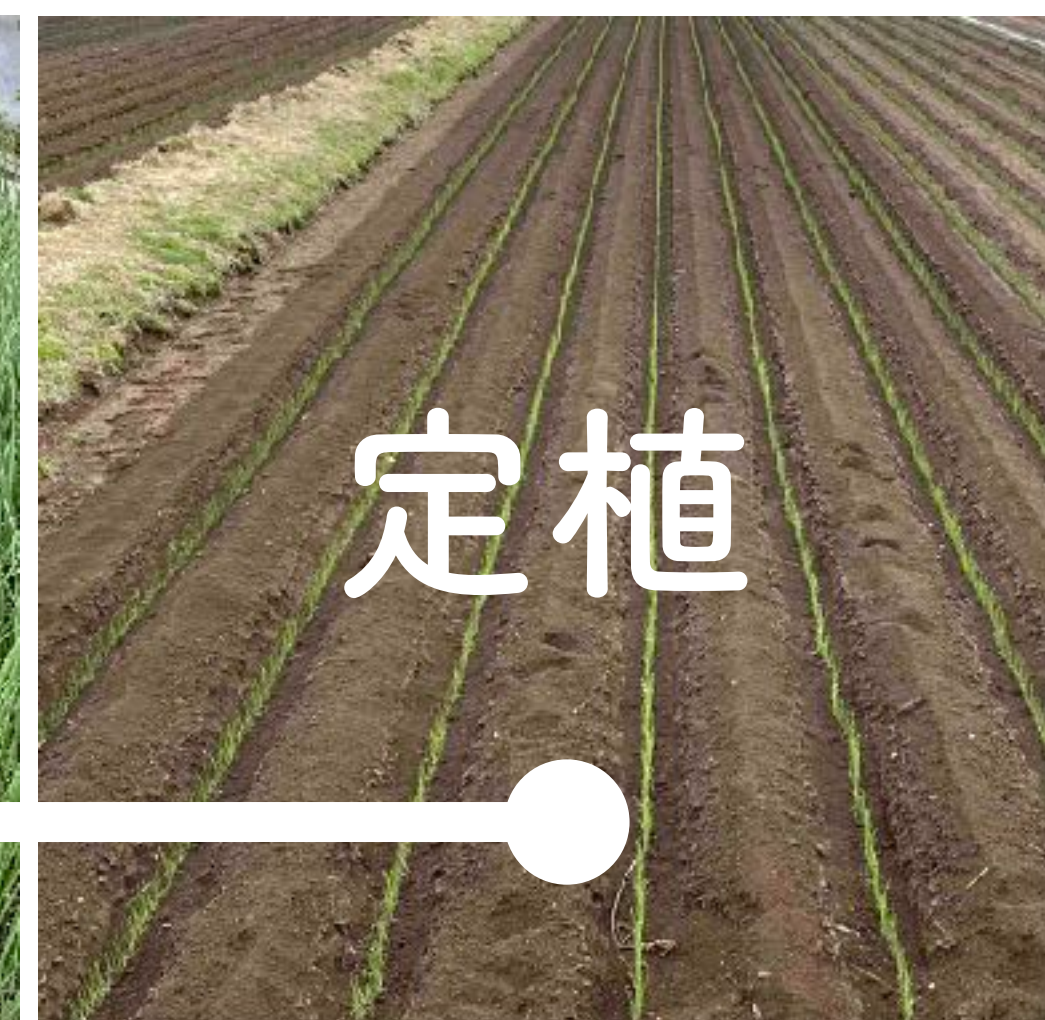
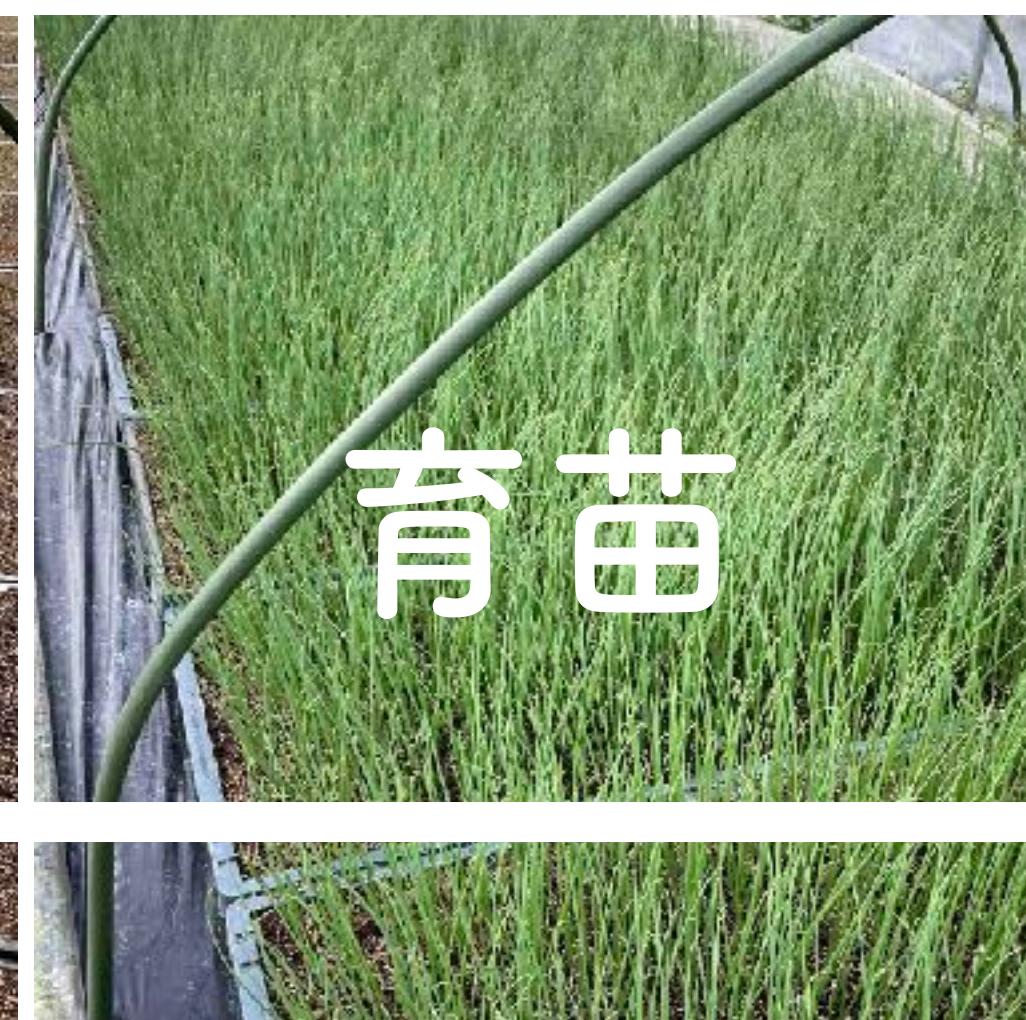
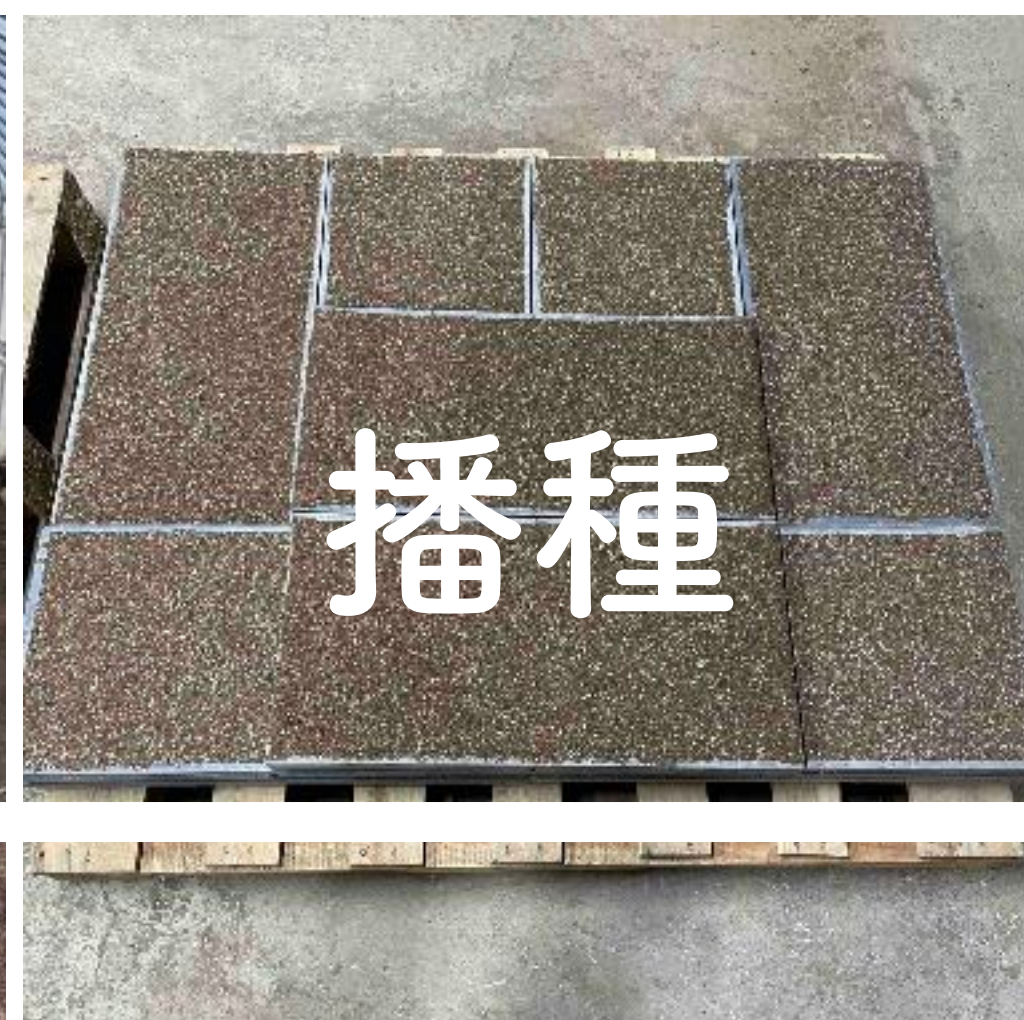
業務内容 すいか、白ネギの栽培及び関連業務、りんご、いちごの収穫出荷など

年間予定	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
すいか	準備	播種・トンネル・定植・整枝・交配・収穫・箱詰									翌年準備	
白ネギ	準備	播種・育苗・定植			除草・土寄			収穫・出荷			準備	
りんご	栽培業務								収穫・箱詰			
いちご	収穫・出荷					栽培業務						

* すいか、白ネギ防除は上長が担当しています

4 農業法人で働くということ

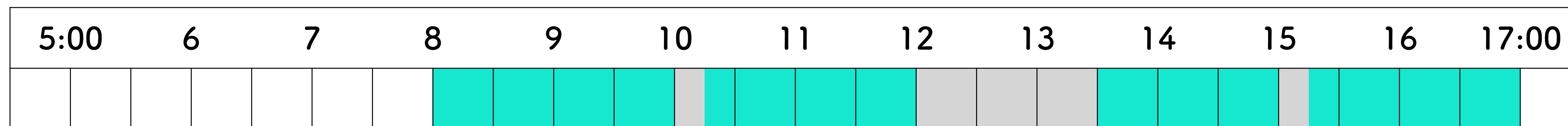
担当業務 白ネギ栽培（12月・1月に準備、2月から播種・栽培、9月から収穫・出荷）



4 農業法人で働くということ

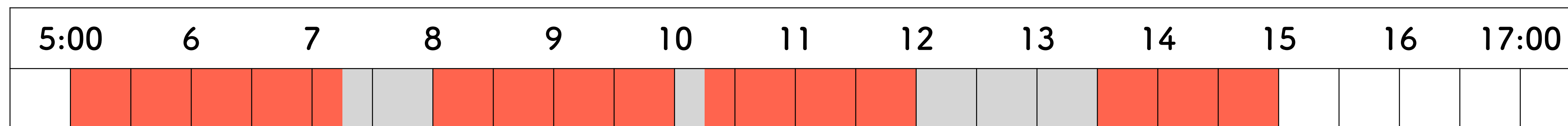
基本的な一日の勤務時間

■ 実働時間 ■ 休憩時間



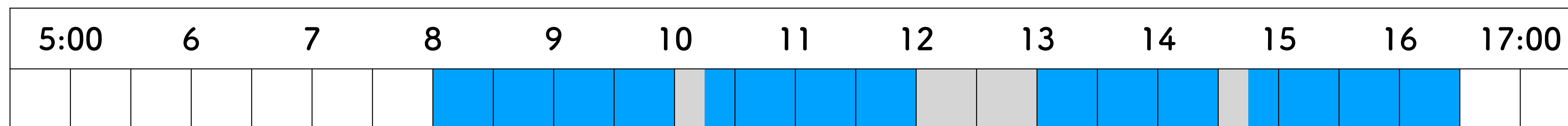
夏期（7月～8月）

■ 実働時間 ■ 休憩時間



冬期（11月～2月）

■ 実働時間 ■ 休憩時間



4 農業法人で働くということ

農業で働くことの特徴・3点

- ・季節の移ろいに合わせた自然な労働により、健康な体と健全な心になる
- ・基本的に手をかけたことが、そのまま結果に結びつく
- ・天候や病害虫などに臨機応変な対応が必要

農業法人で働くことの特徴・3点

- ・会社員であること
- ・個人では維持管理が難しい規模の圃場で、多品目の生産に携わることができる
- ・農繁、農閑期はあるが、年間を通して仕事がある

4 農業法人で働くということ

注意していること、心掛けてしていることなど・3点

- ・先達の話をよく聞き、報告連絡相談を欠かさないこと
- ・業務において常に確認、観察をすること
- ・天気予報をこまめに確認すること

その他

- ・休日が不規則になりやすい
- ・長野県の「農業法人の雇用就農者スキルアップ研修」に参加

会社の補助により、農業知識・実習、大特(農耕車)免許、フォークリフト運転技能講習等を受講・免許取得

5 今後について

株式会社むぎわらぼんとして「農業人」として定年まで働く

定年後は生涯現役を目標に農業を続ける

6 農業法人で働くことを検討している皆さんへ

約2年間の経験ではありますが、農業ほど日々充実する仕事はないと確信しています。

皆さんはまだ検討中かもしれません。

会場では様々な農業関係者のブースがあるので、積極的に面談を行なってください。

農業へ就業といっても、農業法人に就職、個人事業主として新規就農、研修制度等様々です。

そして本当にご自身が選択し就く仕事なのか熟考してください。

農業には忍耐と臨機応変が必要です。

結果は短期間では出ません。

準備万全でも、結果が出るまでは不安や疑問がつきものであり、不測の事態もあります。

農業法人では、会社役員をはじめ、上司、先輩、同期、後輩がいます。

その中で情報を共有し、問題提起から対策を練ることができます。

そうした積み重ねの上に結果があり、達成感や充実感を得て共有することも出来ます。

もしそれを望むのであれば、農業法人を選択してください。